

みんな笑顔で あったかす

みんなの議会

11

2017

9月定例会号



駒 鮎



地産地消の店「チヨリ」



鷹栖消防



新田ファーム

■第3回定例会【決算認定審議・一般質問】

■第7回臨時会

■わたしの一言

職場体験学習

10月12日から2日間、鷹栖中学校2年生の職場体験学習が行われました。自分を知ることや社会を見通すことを目的として、商店や福祉施設など町内28カ所で75名が実習を行いました。

平成22年度一般会計歳出決算額
48億8,886万円認定

…… 前年比 6,061万円増 ……

近文台演習場等周辺農業用施設設置助成事業 2億3,969万円（JAあさひかわ農業用倉庫補助金：国庫補助金として町に同額補助）、美芳野橋架替工事事業（関連事業費の一部支出4,014万円）などが増の要因です。

平成22年度一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、老人保健特別会計、介護保険特別会計、公共下水道事業特別会計、上川町村等公平委員会特別会計、水道事業特別会計の決算について説明を受け、監査委員の意見報告の後、内容審議の結果、全会計について認定しました。

なお、各会計の決算額は「広報たかす11月号」に掲載されていますのでご覧ください。

Q & A

第3回 定例会



第3回定例会は、9月13日から4日間の会期をもって開催しました。議長の行動報告と町長の主要な動静について報告を受けた後、4名の議員が一般質問（4～7ページ）を行い、町長・教育長の考えをたきました。

議事は、報告、条例改正および補正予算を審議し、原案のとおり可決。平成22年度各会計の審議を行い認定しました。人事案件では、教育委員会委員の選任に同意しました。また、決議1件・意見書6件について採択し、会期を2日残り閉会しました。（議案の詳細は8ページに記載）

Q. 近藤議員

歳入で、ゴルフ場利用税・保育料・農産加工施設利用料・公営住宅使用料が減額や滞納になっている内容と経過、今後の対応を伺います。

総務企画課長・福祉課長・産業振興課長・町民税務課長
ゴルフ場利用税の減額は、70歳以上や18歳未満・障がい者については非課税措置ですので、要因の一つと把握しています。

保育料の未納の方には、子どものお迎えの時に分納などの話をしているのが現状です。今後は自宅訪問も含め進めていきたいと考えます。

農産加工センター使用料の未納分は、新年度で完納しています。

公営住宅使用料の未納額は、3カ月以上の滞納には督促状発布、年2回訪問して話をしています。

今後も年度末などに集中的に対応していきます。

Q. 新田議員

農業関連の決算は減額の状態ですが、今後、農地を維持していく上では新規参入も含め有利な事業もあるので、内容を十分に周知し、規模拡大や多角経営を進めていけないのですか。

産業振興課長
予算規模は変わらない額を想定していますが、使いづらい面もあるかと思うので、必要な見直しがあれば各組織と連携を取り整えていきたい。

事業の周知は、推進会議等で情報提供を考えていきたいと思えます。



鷹栖保育園

Q. 植西議員

農地あっせん申出数は変わらず多いのに実績が半減している理由は。

農地法3条による相対取引での実績が倍増し、町外者所有農地が増えています。が、今後の農地集約・集積の妨げになるようなことはないのですか。

農業委員会事務局長

農地あっせん依頼数に対し成立件数が少ないのは、需要のある大型ほ場に対し、あっせんにかかる物件が小さな田んぼが多いため、こまめな対応をもって成立件数を増やしたいと思いません。

農地法3条による所有権移転と集積計画の関係については、集積の柱である「円滑化団体」に意見を求めながら産業振興課とともに集積のあり方を検討していきます。

Q. 近藤議員

新規特産品定着化研究事業補助金は、何を研究開発して、結果はどうなのか。

産業振興課長 女性グループ3

3団体がヤーコン・赤い坊ちゃんかぼちゃ、ハスカップ等の試験栽培や、加工・販売に向けた研究を行っています。今後も特産品開発活動には、関係機関とも連携を取りながら進めたいと考えます。

Q. 辻本議員

口蹄疫侵入防止対策事業で、昨年は石灰配布を行っています。それ以外の防疫体制はどうなっているのですか。

産業振興課長 防疫体制は

口蹄疫に限らず、情報を素早くキャッチしながら、北海道と連動して対応できるような体制を取っていききたいと考えます。

決算認定質疑

Q. 藤澤議員

農産加工施設整備基金積立は現在400万円ぐらいかと思いますが、目的と目標額は設定しているのですか。

産業振興課長 将来的な

機械類の更新を目的に積立てています。今後10年間で1,700万円程度の費用を見込んでおり、その財源として活用予定です。

Q. 近藤議員

小児救急医療支援事業負担金は新しい事業で、1市9町で実施しています。この事業効果を伺います。

生涯元気課長 この事業は

旭川厚生病院が担当で行っており、夜間および土・日等における救急医療体制の充実によって、保護者の健康不安を取り除くことができます。

Q. 木下議員

国保の保険給付費で「1人当たりの診療費は減少」とありますが、特定健診の効果表れての結果なのですか。町全体で検診の受診率を高めることを目指すべきと考えますが。

町民税務課長 一概には言

えませんが、要因としてはあると思います。効果は徐々に出ていると思います。受診率の関係は、生涯元気課と十分連携を取ってきめ細やかな対応を考えています。



四季の里加工室

質 問

警察団地跡地の進捗状況は

中村 公憲 議員

答 弁

町有地となり、居住系用地として利用する

質 問 第2回定例会

(6月開催)の町長の答弁では、7月下旬頃に、契約代金の支払いおよび土地所有権移転登記などを予定しているとのことでしたが、予定どおり土地所有権移転登記が終了したのか伺います。

地域の皆さんの考えや意見の中には、公園整備や雪捨て場の要望もあります。取得後の土地利用については、まちづくり懇談会を含め、広く多くの町民が参加できる会を開催し、意見に耳を傾けていただきたいと思います。

多くの意見の中から、

地域住民のためになり、本町の利益になるものへと意見集約をすることが開かれた行政であると考えますが、町長の考えを伺います。

答 弁 町長 警察団地

跡地の取得経過については、平成23年6月24日に3,862万円で、北海道と土地売買の契約を締結しました。7月14日に土地代金支払いが終わり、7月22日に所有権移転登記が完了し、鷹栖町の土地になりました。

跡地利用については、

町政執行方針で示したとおり、居住系定住対策用地として考えていますし、今も考えに変わりはありません。

第1回定例会(3月開催)の予算審議においても、居住系用地として活用することをご理解をいただいたと考えています。

この用地は、一般住宅地に囲まれており、周辺住宅地における状況を勘案すれば、居住系以外の活用は大変難しいと考えます。

また、人口減少時代における町の将来的市街地形成の維持および定住促進を重視して、判断させていただきました。

高齢者の安心を確保するための住宅や若者の定住促進住宅などが考えられます。地域、町民の方々がどのような住宅を望んでおられるのか、今秋から予定する「まちづくり懇談会」などでの意見を参考にしながら、実施計画案を作成していきたいと考えています。



警察団地跡地

質問

句碑の森の有効活用を

答弁

町長 教育長 保存会の意向をバックアップ
現状維持を基本に

片山 兵衛 議員



丸山句碑の森

質問

丸山地区には、自然道路を中心として句碑の森、玄穹庵などが点在する、奥深い景観の一角があります。

この自然に着目し、整備を始めたのは、丸山自然道路保存会の有志の皆さんでした。

しかし昭和57年発足のこの会は30年を経過する中で、会員の高齢化などもあり、活動の鈍化は否定できない状況です。

句碑の森の石碑に関しては、町としても監督責任があると考えますが、もし仮に保存会が解散した場合、教育長はどのように対応する考えですか。

句碑の森はかつて、21世紀に残したい北海道の「準自然100選」にも認定された、いわば鷹栖町の貴重な自然遺産です。

幸い、隣接する丸山調整池・パークゴルフ場は、人気も高く、この一帯を観光資源として有効活用できないのか。中学生の句会や、サイクリングコースなど、少ない費用でもできることはあります。

要は、企画力と実行力かと思いますが、町長の考えを伺います。

活動は縮小されてきていますが、近年でも旭川彫刻美術館、

文化協会などで利用されています。中学生の自然体験などもありましたが、一時、管理の状況が悪くなり、ここ数年行われていません。

石碑は保存会で保全管理していく意向があり、俳句仲間の方たちが句碑の森の有効利用を考えています。会員の確保など文化協会等とも協議を進めていると聞いています。



それらに期待しながら、教育委員会としてバックアップをしていこうと思います。

貴重な自然遺産という認識は私も同じです。しっかりと

守っていくことに、責任があると考えています。

観光地の考え方ですが、パークゴルフ目的で利用されている方が、どれだけ句碑の森へ目を向けていた、ただるか懸念されます。

また、整備の費用とそれを継続していくエネルギーを考えると、実現するには、かなり大きなハードルになると考えます。

現状維持を基本に進め、保存会の皆さんの考え方と向き合いながら、新たな展開の糸口を探っていきたく思います。



Honda秋祭り

質 問

学校給食の安全性は

大石 隆 議員

答 弁

法律に基づいた食材・食品を使用

ホンダと町の関わりは

答 弁

商工会等との連携も含め、協力体制を

質問 かねてから食品の安全性については、問題となっていました。今回の福島原発事故による放射能の拡散で、多くの食材への不安がより大きくなったと考えます。

学校給食の安全性のチェックをどのように行っているのか、教育長に伺います。

また、コストの問題もあると思いますが、地産地消という観点から自給率についてどのように考えているか伺います。

答 弁 教育長 食材は、食品衛生法に基づく営業許可業者から購入し、加工品等は、保健所が行う

食品衛生監視の報告書をいただき、確認をしています。

放射線量については、暫定規制基準値を超えた食品は市場に流通していませんので、安全と考えています。

平成22年度に使用した鷹栖産野菜の割合は全体重量の30・5%になります。賄材料費・費用的ベースでは、地元の割合は13・5%ですが、23年度から米飯は全量鷹栖米を使っているため、今後は30%を超えると思います。

地産地消の取り組みで、今後とも地元食材を活用したいと考えています。

質問 鷹栖ホンダテス トコースに新コースを増設することで、旭川市が市有林60haをホンダに売却する方向へ作業を進めています。

雇用や職員が増えることによる宿泊数の増加、また、食堂等に納品している鷹栖産の食材も増えると期待できます。

ただ、個人・企業がバラバラに対応するのではなく、行政と連携して推進することが重要だと思えますが、町長の考えを伺います。

答 弁 町長

ホンダから今年度に入り正式に、今後の事業推進について協力をお願いしたいという申し出がありました。

企業の事業活動が拡大されることは、鷹栖町にとっても雇用や町税の増加などで間接的・直接的に地域経済の活性化につながります。

今後、ホンダの動きを見ながら必要に応じて、商工会や関係者との連携を含めて協力体制を考えていきたいと思えます。

質問

大震災被災者の支援策は

答弁

状況に応じて対応



歓迎パーティー

質問

7月27日から8日間、福島原発事故で活動制限を受けた郡山市の子どもたちと大人35名を受け入れました。

きっかけは、社会福祉協議会のボランティア仲間。「なか手助けできないか」と話をしている中、「チームあつたかす」代表の方に「子どもを預かってほしい」と連絡があつたからです。

受け入れまでの短い期間の中、人材・住居・食料・交通手段・活動経費など、7泊8日の計画を立て、実行しました。今回のような動きは必要と考えます。特定の人に負担が偏らないようボ

ランティア・地域・社協・行政がそれぞれできることを話し合い、今後に向け検討しなければならぬと思います。

さらに短・長期的受け入れ要請があつた場合、支援策の内容を伺います。イチゴ農家を受け入れている伊達市のように、就農希望者などの移住支援策を打ち出し、PRが必要と思いますが、町長の考えを伺います。

答弁

町長

このたび「チームあつたかす」が中心となり郡山の子どもたちを受け入れたことは素晴らしいと思います。子どもや親からのメール

などから関係者の思いやりが伝わったと大変嬉しく思います。

受け入れを決めた時点で、ある程度の負担と覚悟を自覚されていると思えます。ボランティア活動については、中央共同募金会や北海道の支援金を利用し、ボランティアセンターにその役割を担っていただきたいと考えます。その上で、町民同士が協力すれば、特定の人への負担の偏りが解消できると思います。

活動経費は、資金集めの努力をしていただき、町としても状況に合わせ協議したいと思えます。

短期的受け入れ要請があつた場合は、公営住宅・町有の住宅4戸を提供可能として、北海道を通じて情報発信していきます。長期的には、北海道の取り組みに合わせて考えていきます。

伊達市は姉妹都市の交流もあり、互恵関係によつて対応されたのだと思います。

町では被災農業者を対象に公募はしていませんが、飯館村から就農希望の話もありますので、個々のケースに合わせ対応していきたいと考えます。



坂根 玲子 議員

第3回

定例会

■条 例

【鷹栖町税条例の一部改正】
【鷹栖町都市計画税条例の一部改正】

地方税法等の一部改正により、過料の額の変更、寄附金税額控除の適用拡大のほか、関連規定を整備する改正です。

【鷹栖町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正】

安定型処分場の不適切なごみ処理に伴う責任を負って、町長の給料月額10%を3カ月間減ずる改正です。

■報 告

【平成22事業年度株式会社鷹栖町農業振興公社の決算及び平成23事業年度の事業計画】

【平成22年度鷹栖町健全化判断比率・公営企業の資金不足比率】

法律に基づき毎年議会に報告し、公表することになっています。詳しくは「広報たかす11月号」に判断比率等が掲載されていますので、参考にしてください。

【平成22年度鷹栖町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価】

■教育委員会委員の選任同意

長谷川慶子教育委員の任期満了に伴い、次の方の教育委員選任に同意しました。



(新任)

浅井 悦子さん
(南1条2丁目)

■決議

【「東日本大震災」の支援活動に感謝する決議】

■意見書

【森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書】

【平成24年度農業予算編成に関する意見書】

【国の雇用創出基金事業の継続・改善を求める意見書】

【住民の安全・安心な暮らしを支える交通運輸行政の充実を求める意見書】

【原子力発電からの脱却と自然エネルギーへの転換を求める意見書】

【軽油引取税の課税免除措置などの恒久化を求める意見書】

■補正予算

【一般会計】主な内容は、町議会議員行政視察研修旅費、放課後児童クラブ(北野地区)施設修繕、障がい福祉サービス給付事業前年度償還金、民有林振興事業費など、総額350万1千円を増額するものです。

【上川町村等公平委員会特別会計】内容は、他町職員の不利益処分の不服申立てに係わる委員会経費の増額です。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一 般	350万1千円	45億6,335万5千円	45億6,685万6千円
(内 訳)			
議 会 費	4千円	行政視察研修旅費、△議員期末手当 ほか	
総 務 費	△108万9千円	臨時事務賃金、まちづくり応援基金、△選挙費 ほか	
民 生 費	205万6千円	放課後児童クラブ(北野地区)施設修繕 ほか	
衛 生 費	52万5千円	生涯元気づくり推進事業 (ノルディックウォーキング用具購入) ほか	
農 林 費	98万円	民有林振興事業費(造林事業) ほか	
土 木 費	52万3千円	大型車庫修繕 ほか	
消 防 費	50万2千円	上川中部消防組合負担金	
公平委員会	16万8千円	1,142万9千円	1,159万7千円



ノルディックウォーキング

第7回臨時会

10月7日に開催された臨時会において、補正予算について審議し、原案のとおり可決しました。

■補正予算

【一般会計】 一般会計予算に歳入歳出それぞれ7,002万2千円を追加し、総額を46億3,687万8千円とするものです。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一 般	7,002万2千円	45億6,685万6千円	46億3,687万8千円
(内 訳)			
総務費	20万7千円	防災対策事業(消耗品・原材料費)	
農林費	5,681万円	生産振興対策補助事業(道交付金100%補助事業) ほか	
土木費	△500万円	事業執行残 ほか	
教育費	29万7千円	教育車輛修繕	
災害復旧費	1,770万8千円	河川等災害復旧工事、原材料購入 ほか	

議会の
うごき

2011.7.23~10.18

捨てられない議会報のために

議会広報研修会 —— 8月18日/札幌市

議会報は、皆さんと議会の重要な接点です。よりよい議会報を目指すため議会報特別委員全員で研修に参加してきました。

講師は、全国の議会の広報研修講師や広報コンクール審査員などを担当している深沢徹氏。80歳とは思えない歯切れのよさで、議会報の企画やレイアウト、文章・用語・表記など具体的な技術について注意点を話されました。

3つの重要ポイントとして挙げられた「ありのままに 分かりやすく 住民とともに」は一見シンプルですが、例えば限られた紙面の中で記事を取捨選択することと「ありのまま」を両立するには工夫が必要であるなど、どれも奥が深く、細かな説明は非常に参考になりました。中でも「計画を策定する」を「計画をつくる」、「当該事業」を「この事業」と分かりやすくするための言い換えは、すぐにでも実践できそうです。

その後、希望した町村の議会報の改善点を指摘する「クリニック」がありました。

学んだことを生かし、読んでいただけるような議会報を目指します。皆様のご意見をお寄せください。



■8月

- 8日 開拓感謝の集い・戦没者追悼の集い・議会活性化委員会役員会
- 17日 名寄市議会市民連合・凜風会視察来庁
- 18日 議会広報研修会（札幌市）
- 23日 議会活性化委員会・議員協議会（安定型処分場の是正措置について）
- 26日 当別町議会産業建設常任委員会視察来庁

■9月

- 2日 経済福祉常任委員会（第3回定例会で提案される議案について）
- 5日 総務文教常任委員会（第3回定例会で提案される議案について）
- 7日 議会運営委員会（第3回定例会で提案される案件や意見書の取り扱いについて協議し、会期などを決定）
- 13日 第3回議会定例会（～14日）・議員協議会（安定型処分場の是正措置について ほか）・議会報特別委員会
- 27日 地域を語ろう会（北野ボランティア有志の会）
- 28日 議会報特別委員会

■10月

- 3日 経済福祉常任委員会・総務文教常任委員会（第7回臨時会で提案される議案について）
- 7日 第7回議会臨時会
- 8日 地域を語ろう会（北野地区住民センター）
- 11日 地域を語ろう会（中央地区住民センター）
- 12日 議会報特別委員会
- 13日 地域を語ろう会（北斗地区住民センター）
- 14日 地域を語ろう会（鷹栖地区住民センター）
- 18日 議会報特別委員会
地域を語ろう会（北成地区住民センター）



畠山 壮典 さん
(シンフォニー町内会)

改革で明るい町を

私は以前、前町長さんや議会議員さんが出席されている会合の挨拶で、政治家は日本を駄目にすると申しましたが、まさにそのようです。

私は国会議員や地方議会の議員は、今の半分でよいのではないかと思います。議員定数の削減や公務員の給料削減など、話ばかりで全く改革されていないのが現状です。

今度は、私たちの年金支給額を減らすような話も出ていますが、みなさんはどう思いますか。私は、鷹栖町の議員もまだ多いと思います。本当に仕事のできる人だけで、もう少し少ない議員数でよいのではないのでしょうか。

話は変わりますが、全国で超高齢化が進み、約260万人の認知症の方がおられると聞いております。そのような中、私たちは北野地区で認知症予防対策として「北野いきいき遊び塾」を平成22年6月に創設し、現在56名の会員で活動しています。「認知症」は、これからの社会問題にもなるような大きな問題です。地域での活動はもちろんですが、行政や議員の皆さんにもしっかり認識をいただき、町全体で取り組めるような対策が望まれます。

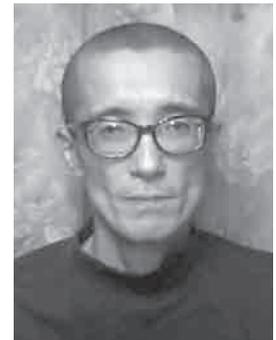
■ わたしの一言 ■

議員報酬の引き上げを願う

鷹栖町議会議員の報酬が少なすぎると思います。議員の皆さんは、自分の生活を犠牲にしてまで町内のいろいろな行事に、すべて顔を出して、また冠婚葬祭に出席し、出費が多くて大変だと思います。(自分だったら絶対できないと思う)。

議員報酬をかなり上げなければ、今後の鷹栖町を背負う若者たちからは議員に立つ人は出てこないのではないのでしょうか。これからの時代は、昔の考え方を変えて若者の時代です。そのためにも、新人の若者議員が必要なのです。

今後の鷹栖町の発展のため、鷹栖町が「アイデアの町たかす」になるためにも、報酬の引き上げが絶対必要なのです。



高野 健司 さん
(豊央町内会)

あとかき

黄金色だった田んぼもすっかり姿を変え、冬の到来を待つばかりの季節になりました。

今年は大震災・原発事故・台風と、国民にとって試練の一年だったように思います。町民の皆さんも募金や支援活動など、いろいろな経験をされたのではないのでしょうか。

寒い冬が過ぎれば、また暖かい春が来ます。希望に心ふるわせ、元気に日々の生活を送っていると思います。

さて、今定例会での4人の一般質問、補正予算と、平成22年度各会計決算認定を載せた「みんなの議会」144号をお届けします。

今回「わたしの一言」にお寄せくださいました
畠山 壮典さん、高野 健司さん、ありがとうございました。
議会報特別委員一同

次回の定例会は 12月です

鷹栖町議会

議会に関するお問い合わせはこちらへ

〒071-1292
北海道上川郡鷹栖町南1条3丁目
5番1号

TEL 0166-87-2111
FAX 0166-87-2196
mail:gikai@town.takasu.hokkaido.jp